

# 経営比較分析表

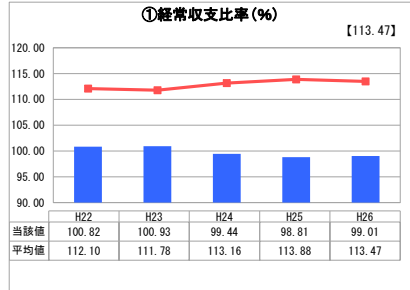
熊本県 上天草・宇城水道企業団

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	用水供給事業	B
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)
-	82.25	39.09	0

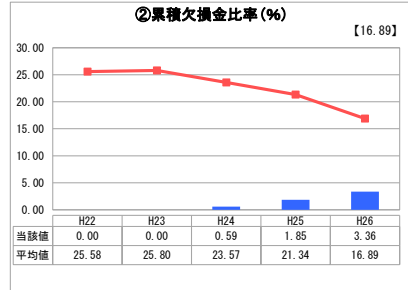
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
-	-	-
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km <sup>2</sup> )	給水人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
83,793	285.92	293.06

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成26年度全国平均

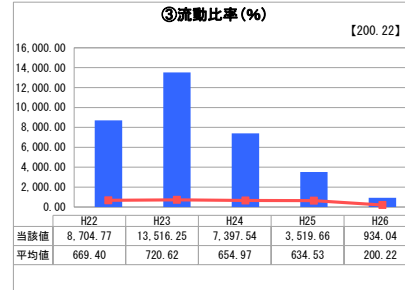
## 1. 経営の健全性・効率性



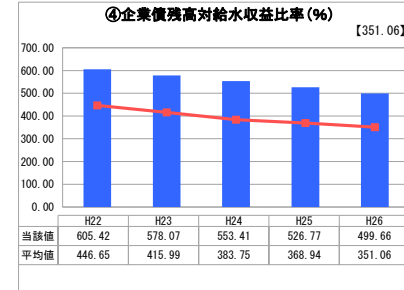
「経常損益」



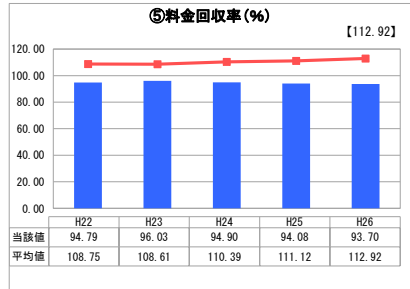
「累積欠損」



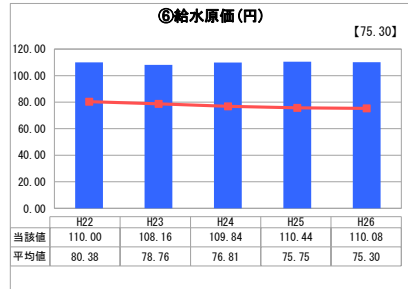
「支払能力」



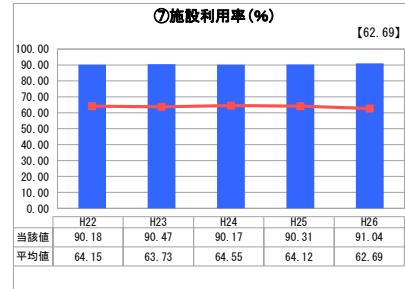
「債務残高」



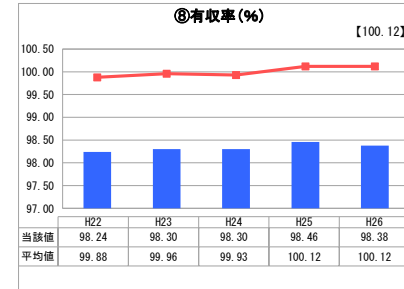
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

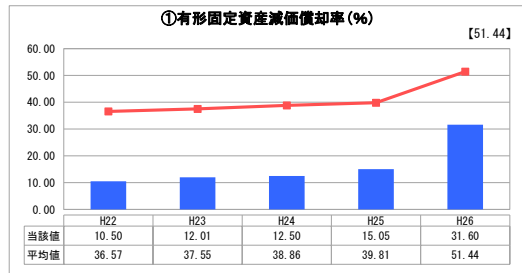


「施設の効率性」

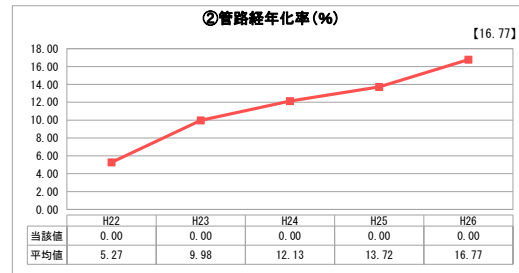


「供給した配水量の効率性」

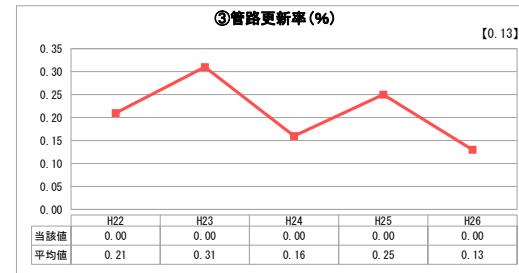
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・ 経常収支比率が低下し、累積欠損比率が増加傾向にある。
- ・ (要因)
  - ・ 施設の維持管理及び保守点検料の増加
    - ・ H22年度とH26年度を比較すると34,569千円増加している。
  - ・ 電気料金の値上げ
    - ・ 東日本大震災以降電気料金が値上げとなり、動力費が大幅に増加している。
    - ・ H22年度とH26年度を比較すると20,368千円増加している。
  - ・ (今後の対策)
    - ・ 維持管理費等を極力抑制する。
    - ・ 動力費については、値下がり傾向にあるので、なお一層の節減に努める。
- ・ 維持管理費、動力費以外においても精査し、削減することで経常費用を抑制し、累積欠損金を減少する。

### 2. 老朽化の状況について

- ・ 新設から15年以内であるため構築物等については、老朽化の該当はない。
- ・ 機械等については、耐用年数を超過しているものもあり、取替修繕を行っている。

## 全体総括

収益については、水道料金に責任水量制を採っていることから、変動がなく収益アップは見込めない。

アセットマネジメントを踏まえ、更新需要の平準化を図り財政収支を見直し、施設の更新を計画的に行うこととしているが、将来的には適切な料金への改定を検討する必要がある。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。